

いちのみやにしこう
一宮西港道路
第2回意見聴取結果

国土交通省 中部地方整備局

令和7年3月11日

目次

意見聴取の結果

1. 第2回意見聴取の概要

- 1) アンケート配布資料 2
- 2) 意見聴取の概要 5

2. 第2回意見聴取の結果

- 1) 回答者属性 8
- 2) 道路の利用状況 9
- 3) ルート帯案・インターチェンジの配置について 13

1. 第2回意見聴取の概要 1) アンケート配布資料：ポスター・チラシ

■ アンケート広報：ポスター

いちのみやにしこう

一宮西港道路の計画に関する第2回アンケートにご協力ください

一宮西港道路とは、東海北陸自動車道及び名神高速道路が交差する一宮ジャンクションから、伊勢湾岸自動車道及び名古屋港を結ぶ高規格道路です。

本アンケート調査は、一宮西港道路の計画策定にあたり、本道路が皆様の生活に役立つ道路となるよう、地域の皆様と道路をご利用される方等のご意見をお聴きするものです。

調査内容

2回目となる本調査では、最適なルート帯案の検討にあたり、重視すべきポイントや配慮すべきポイントについて地域の皆様にご意見をお聴きします。

回答方法

一宮西港道路周辺にお住まいの皆様へ送付する郵送はがき、及びWEBアンケート(愛知県道事務所のホームページ、下記二次元コード)等でご回答頂けます。

※地域によっては一部の方へ郵送しております。

■ アンケート広報：チラシ①

一宮西港道路計画の第2回アンケート

一宮西港道路の計画に関する皆様のご意見をお聴かせください

【一宮西港道路とは】 東海北陸自動車道及び名神高速道路が交差する一宮ジャンクションから伊勢湾岸自動車道及び名古屋港を結ぶ高規格道路です。

【位置図】

【詳細図】

アンケートは5分程度で回答できます
郵送はがきでも大丈夫です！
2024年10月4日(金)

一宮西港道路の通過ルートの検討にあたり重視すべきポイントや配慮すべきポイントについてお聴かせください

物流 (名古屋港の物流交通が早く円滑に移動できること、西尾張、海部地域の企業、工場から高速道路へアクセスしやすくなること)

防災 (災害時に救援活動や支援物資の輸送に役立つこと、災害時の緊急避難場所として道路が役立つこと)

まちづくり(地域開発の支援) (高速道路へアクセスしやすいため、沿道部の開発が促進されること、沿道部の開発が促進されること)

対策案を検討する上での配慮すべきこと (生活環境(大気・騒音等)に配慮し、影響が少ないこと、自然環境(動植物等)に配慮し、影響が少ないこと、地域の景観(景観資源等)に配慮し、影響が少ないこと、工事中に地域への影響(交通規制・工事期間等)が少ないこと、道路をつくる費用が安いこと)

■ アンケート広報：チラシ②

一宮西港道路計画の第2回アンケート

一宮西港道路の計画に関する皆様のご意見をお聴かせください

【一宮西港道路とは】 東海北陸自動車道及び名神高速道路が交差する一宮ジャンクションから伊勢湾岸自動車道及び名古屋港を結ぶ高規格道路です。

【位置図】

【詳細図】

アンケートは5分程度で回答できます
郵送はがきでも大丈夫です！
2024年10月4日(金)

一宮西港道路の通過ルートの検討にあたり重視すべきポイントや配慮すべきポイントについてお聴かせください

物流 (名古屋港の物流交通が早く円滑に移動できること、西尾張、海部地域の企業、工場から高速道路へアクセスしやすくなること)

防災 (災害時に救援活動や支援物資の輸送に役立つこと、災害時の緊急避難場所として道路が役立つこと)

まちづくり(地域開発の支援) (高速道路へアクセスしやすいため、沿道部の開発が促進されること、沿道部の開発が促進されること)

対策案を検討する上での配慮すべきこと (生活環境(大気・騒音等)に配慮し、影響が少ないこと、自然環境(動植物等)に配慮し、影響が少ないこと、地域の景観(景観資源等)に配慮し、影響が少ないこと、工事中に地域への影響(交通規制・工事期間等)が少ないこと、道路をつくる費用が安いこと)

一宮西港道路 通過ルートの重視すべきポイントや配慮すべきポイント

物流 (名古屋港の物流交通が早く円滑に移動できること、西尾張、海部地域の企業、工場から高速道路へアクセスしやすくなること)

防災 (災害時に救援活動や支援物資の輸送に役立つこと、災害時の緊急避難場所として道路が役立つこと)

まちづくり(地域開発の支援) (高速道路へアクセスしやすいため、沿道部の開発が促進されること、沿道部の開発が促進されること)

対策案を検討する上での配慮すべきこと (生活環境(大気・騒音等)に配慮し、影響が少ないこと、自然環境(動植物等)に配慮し、影響が少ないこと、地域の景観(景観資源等)に配慮し、影響が少ないこと、工事中に地域への影響(交通規制・工事期間等)が少ないこと、道路をつくる費用が安いこと)

一宮西港道路 地域の課題と課題解決のための政策目標・ルート対策の決定

第1回委員会にて議論した地域の課題と課題解決のための政策目標・ルート対策の決定

物流 (名古屋港の物流交通が早く円滑に移動できること、西尾張、海部地域の企業、工場から高速道路へアクセスしやすくなること)

防災 (災害時に救援活動や支援物資の輸送に役立つこと、災害時の緊急避難場所として道路が役立つこと)

まちづくり(地域開発の支援) (高速道路へアクセスしやすいため、沿道部の開発が促進されること、沿道部の開発が促進されること)

対策案を検討する上での配慮すべきこと (生活環境(大気・騒音等)に配慮し、影響が少ないこと、自然環境(動植物等)に配慮し、影響が少ないこと、地域の景観(景観資源等)に配慮し、影響が少ないこと、工事中に地域への影響(交通規制・工事期間等)が少ないこと、道路をつくる費用が安いこと)

一宮西港道路における課題解決のための目標の設定

物流 (名古屋港の物流交通が早く円滑に移動できること、西尾張、海部地域の企業、工場から高速道路へアクセスしやすくなること)

防災 (災害時に救援活動や支援物資の輸送に役立つこと、災害時の緊急避難場所として道路が役立つこと)

まちづくり(地域開発の支援) (高速道路へアクセスしやすいため、沿道部の開発が促進されること、沿道部の開発が促進されること)

対策案を検討する上での配慮すべきこと (生活環境(大気・騒音等)に配慮し、影響が少ないこと、自然環境(動植物等)に配慮し、影響が少ないこと、地域の景観(景観資源等)に配慮し、影響が少ないこと、工事中に地域への影響(交通規制・工事期間等)が少ないこと、道路をつくる費用が安いこと)

対策案の方針：政策目標、配慮すべき事項を踏まえてルート帯案を設定

一宮西港道路整備イメージ

通過ルートの検討にあたり、重視すべきポイントや配慮すべきポイントについてお聴かせ下さい。

<h4>物流</h4> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋港の物流交通が早く円滑に移動できること。 西尾張、海部地域の企業、工場から高速道路へアクセスしやすくなること。 	<h4>防災</h4> <ul style="list-style-type: none"> 災害時に救援活動や支援物資の輸送に役立つこと。 災害時の緊急避難場所として道路が役立つこと。 	<h4>まちづくり(地域開発の支援)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 高速道路へアクセスしやすいため、沿道部の開発が促進されること。 沿道部の開発が促進されること。 	<h4>対策案を検討する上での配慮すべきこと</h4> <ul style="list-style-type: none"> 生活環境(大気・騒音等)に配慮し、影響が少ないこと。 自然環境(動植物等)に配慮し、影響が少ないこと。 地域の景観(景観資源等)に配慮し、影響が少ないこと。 工事中に地域への影響(交通規制・工事期間等)が少ないこと。 道路をつくる費用が安いこと。
---	---	--	---

アンケートの回答期限

回答は、**2024年10月4日(金)**までにお願致します。

※この期限以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

5分程度で回答できます! Webアンケートはこちら

お問い合わせ先

愛知県道事務所 AICHI NATIONAL HIGHWAY OFFICE

〒464-0066 名古屋市千種区池下町2番62号
電話:052-761-1191(代表:平日9:30~17:00)
ホームページ:https://www.cbr.mlit.go.jp/aikoku/

1. 第2回意見聴取の概要 2) 意見聴取の概要①

- 一般道路利用者を対象とした調査は、地域住民を対象とした郵送配布アンケート、地域住民及び周辺道路を利用する広域道路利用者を対象とした留置きアンケート、WEBアンケート、インタビュー、オープンハウスの5つの手法で実施。

■ 一般道路利用者における調査手法別回収実績

調査手法別		沿線住民	周辺住民	広域道路利用者	総計
郵送	はがき	25,562	11,108	211	41,983
	WEB	3,344	1,758	—	
留置き	地方公共団体等	36	11	37	130
	SA/PA、道の駅	5	8	33	
WEB	HP・ポスター、チラシ	—	—	152	4,027
	モニター	39	49	3,787	
インタビュー		6	46	328	380
オープンハウス		118	46	16	180
合計		29,110	13,026	4,564	46,700

※一般道路利用者の分類（沿線住民、周辺住民、広域道路利用者）は回答者が答えた居住地によって分類

沿線地域：概ねのルート帯が通過する地区

周辺地域：概ねのルート帯が通過する市町村及びその隣接市町村

1. 第2回意見聴取の概要 2) 意見聴取の概要②

- 一般道路利用者に対して、ポスター掲示により広く周知を行いつつ、郵送配布によるアンケートやホームページ上にアンケート回答ページを設置し、調査を実施。
- これらに合わせて、高速道路SA/PA、市役所・町村役場及び道の駅にアンケートブースを設置。

■ 市役所や高速道路SA/PA、道の駅に道路利用者アンケートの設置

手法	対象詳細	回収数
留置きアンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線・周辺地域の地方公共団体（9市3町1村） ・岐阜地域の地方公共団体（3市2町） ・沿線・周辺地域の「道の駅」利用者（1駅） ・沿線・周辺高速道路のSA/PA利用者（6箇所） 	130

《留置き：沿線・周辺地域、岐阜地域の地方公共団体》



愛知県庁舎



羽島市役所

《留置き：道の駅、高速道路SA/PA》



道の駅 立田ふれあいの里



東海北陸自動車道
ひるがの高原SA



名神高速道路 尾張一宮PA

■ WEB掲載等

手法	対象詳細	回収数
ホームページバナー/リンク・2次元コード	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県国道事務所、名古屋国道事務所、岐阜国道事務所、北勢国道事務所 ・沿線・周辺地域の地方公共団体、岐阜地域の地方公共団体 ・トラック協会 	4,027
メルマガ配信/SNS掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県国道事務所 ・沿線・周辺地域の地方公共団体 ・トラック協会 	
登録モニター	<ul style="list-style-type: none"> ・計画路線周辺を訪れたことがある、調査会社の登録モニター（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県南部居住者） 	

《ホームページ・SNS》



愛知県国道事務所

《デジタルサイネージ》



一宮市

1. 第2回意見聴取の概要 2) 意見聴取の概要③

- 高速道路SA/PAで広域道路利用者を対象に調査員による聞き取り形式のアンケート調査（インタビュー）を実施。
- また、商業施設利用者の方を対象に一宮西港道路計画に関する事業計画の内容説明及び直接、道路利用者の皆様のご意見・ご質問をお聴きする場としてオープンハウスを開催。

■ インタビュー調査の実施（高速道路SA/PA）

手法	対象詳細	回収数
インタビュー	・沿線・周辺高速道路のSA/PA利用者（3箇所）	380

《インタビュー調査の様子》

調査実施日	
関PA	9月14日（土）
川島PA	9月14日（土）
大山田PA	9月16日（月・祝）



東海北陸自動車道 関SA



東海北陸自動車道 川島PA
(オアシスパーク河川環境楽園)



東名阪自動車道 大山田PA

■ オープンハウスの開催（商業施設）

手法	対象詳細	回収数
オープンハウス	・沿線・周辺地域に立地する商業施設（3箇所）	180

《オープンハウスの様子》

開催日	
ヨシヅヤ津島本店	9月7日（土）
イオンタウン弥富	9月23日（月・祝）
アピタタウン稲沢	9月29日（日）



ヨシヅヤ津島本店



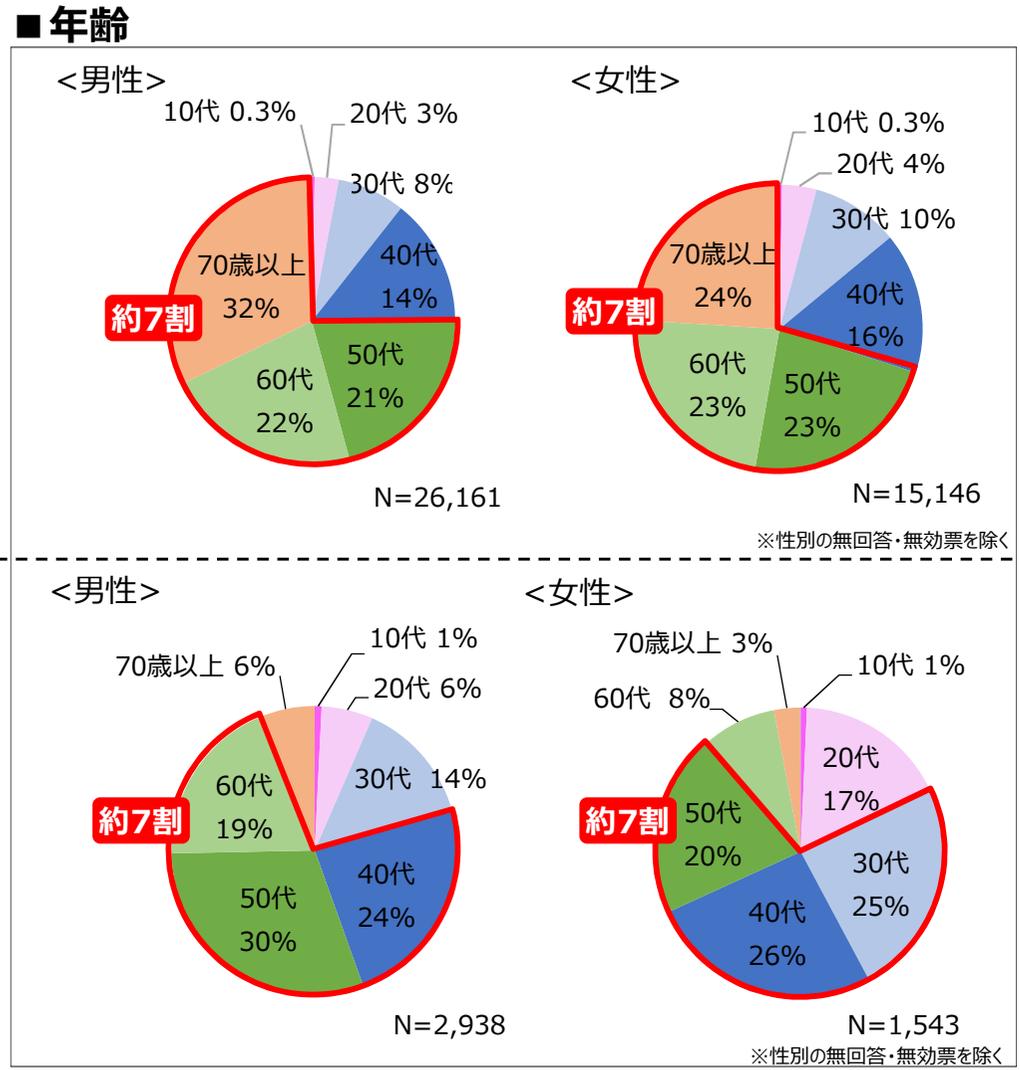
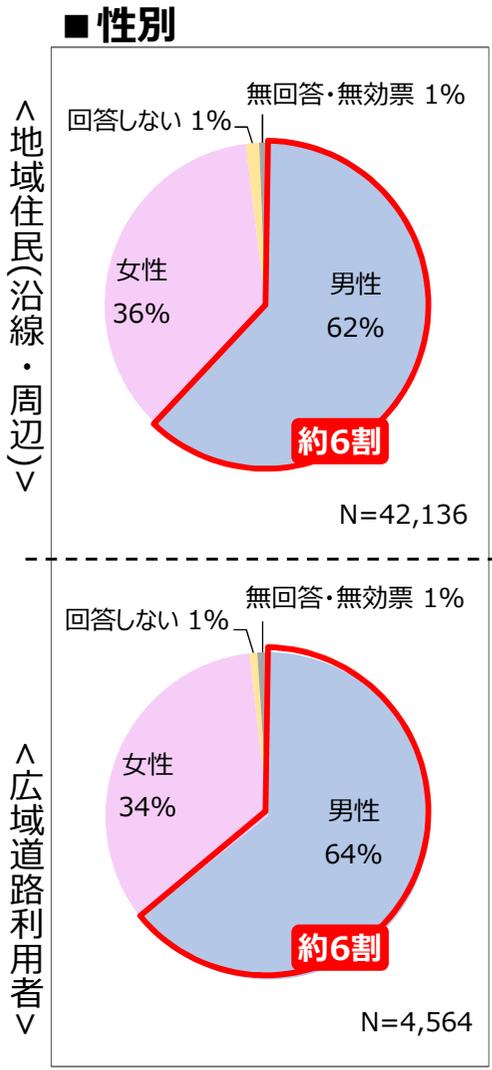
イオンタウン弥富



アピタタウン稲沢

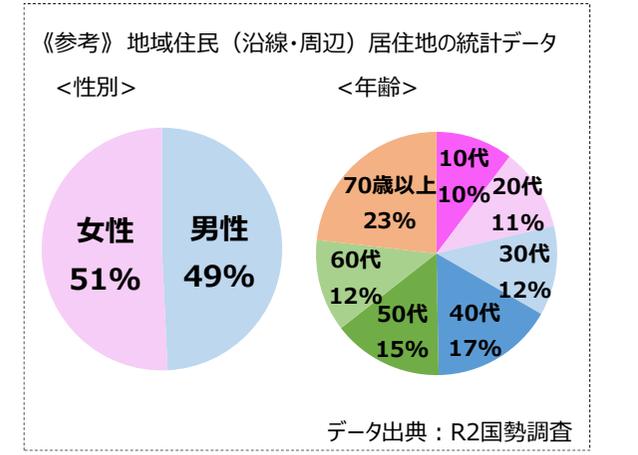
2. 第2回意見聴取の結果 1) 回答者属性

- 地域住民（沿線・周辺）の回答者は男性の割合が多く、約6割。性別年齢別では男女共に50代以上からの回答が多く約7割。
- 広域道路利用者の回答者は男性の割合が多く約6割。性別年齢別では男性は40代～60代、女性は30代～50代からの回答の割合が多く約7割。



■ 年齢別回収数 (男性と女性の差)

項目	男性	女性	差分 (男性-女性)
10代	100	56	44
20代	886	847	39
30代	2,406	1,877	529
40代	4,440	2,804	1,636
50代	6,326	3,779	2,547
60代	6,347	3,636	2,711
70歳以上	8,540	3,648	4,892
無回答・無効票	54	42	12
計	29,099	16,689	12,410



沿線地域：概ねのルート帯が通過する地区
周辺地域：概ねのルート帯が通過する市町村及びその隣接市町村

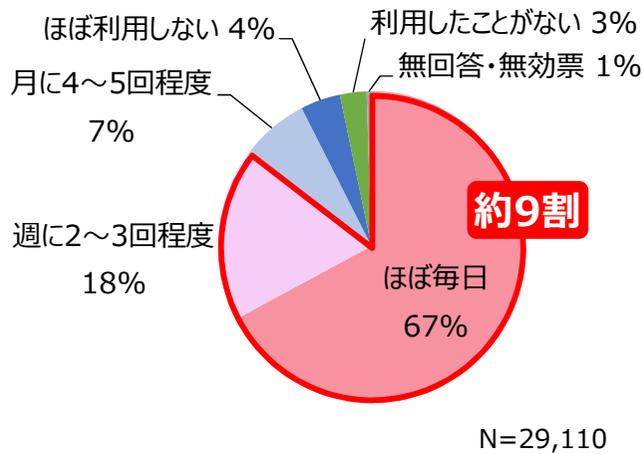
※地域住民（沿線・周辺）：名古屋市中川区・港区、一宮市、津島市、稲沢市、清須市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡蟹江町、海部郡大治町、海部郡飛島村、桑名市、桑名郡木曾岬町

2. 第2回意見聴取の結果 2) 道路の利用状況：①一般道路利用者

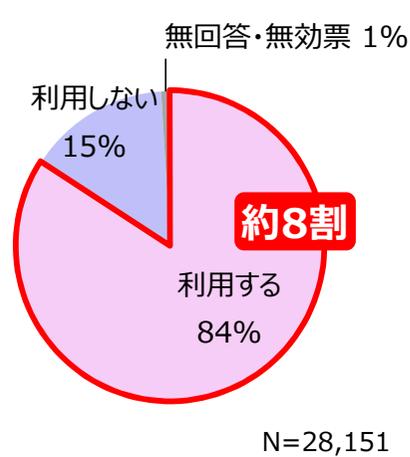
①-1沿線住民：自動車利用頻度と計画路線周辺道路利用状況

- 自動車の利用頻度は、「ほぼ毎日」・「週に2～3回程度」が約9割、計画路線周辺道路の利用は約8割。
- 計画路線周辺道路の利用目的は、「日常的な買い物・通院等」が男女ともに最も多く、男性は約4割、女性は約5割。次いで男性は「仕事」が約3割に対し、女性は「仕事」、「観光・レジャー」、「通勤・通学」と様々であった。
- 目的地別は沿線・周辺地域内が約8割と最も高く、周辺地域外では岐阜県岐阜地域南部・中濃地域の割合が高く、約3割。

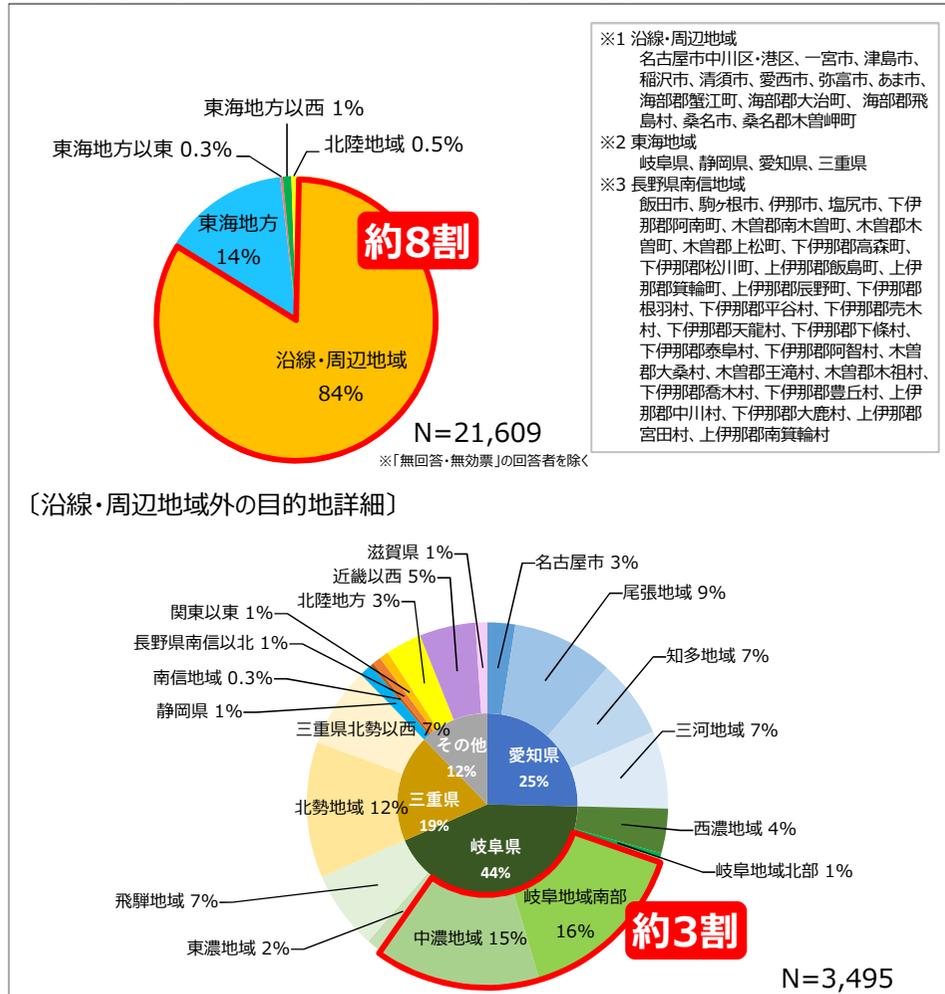
■ 自動車の利用頻度



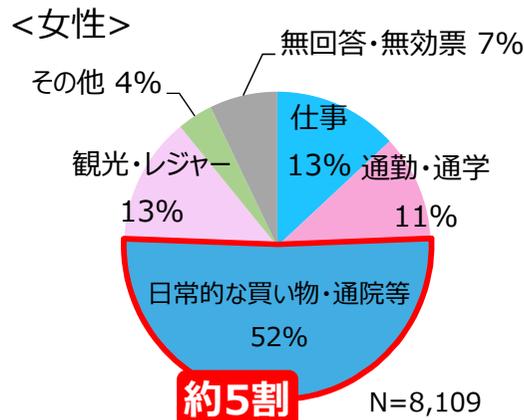
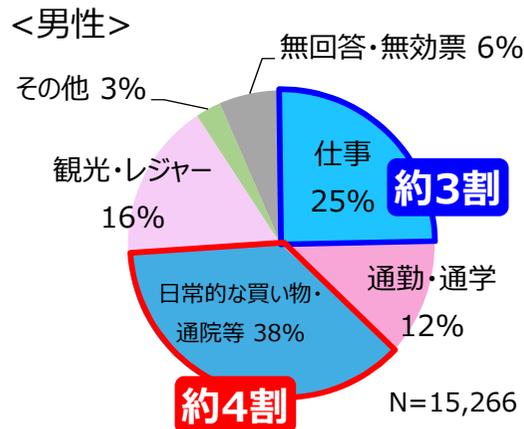
■ 計画路線周辺道路の利用状況



■ 計画路線周辺道路の利用目的と目的地



■ 計画路線周辺道路の利用目的

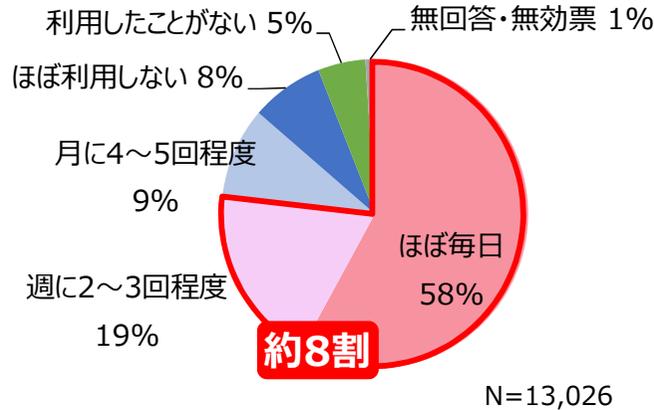


2. 第2回意見聴取の結果 2) 道路の利用状況：①一般道路利用者

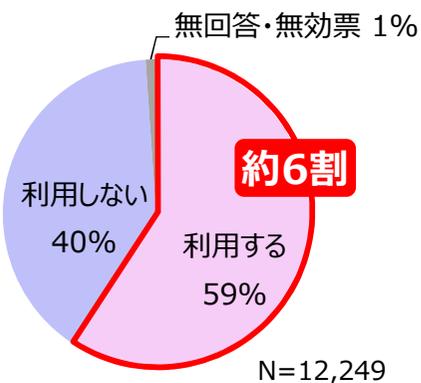
①-2周辺住民：自動車利用頻度と計画路線周辺道路利用状況

- 自動車の利用頻度は、「ほぼ毎日」・「週に2～3回程度」が約8割、計画路線周辺道路の利用は約6割。
- 計画路線周辺道路の利用目的で最も多いのは、男性は「日常的な買い物・通院等」、「観光・レジャー」でそれぞれ約3割、女性は「日常的な買い物・通院等」で約4割、次いで「観光・レジャー」が約3割。
- 目的地は沿線・周辺地域内が約8割と最も高く、周辺地域外では三重県北勢地域、次いで岐阜県岐阜地域南部が高く、それぞれ約2割。

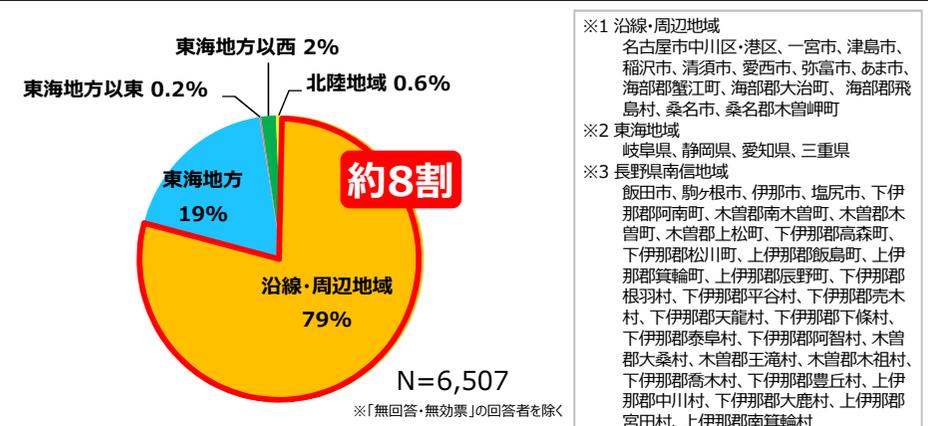
■ 自動車の利用頻度



■ 計画路線周辺道路の利用状況



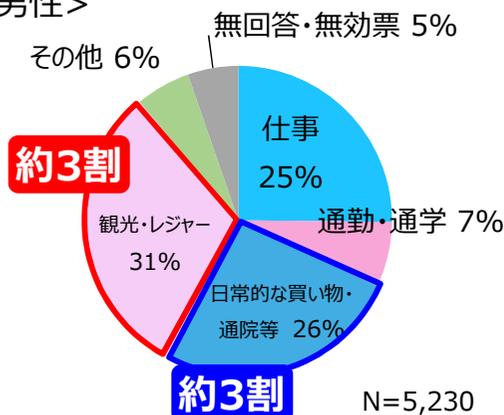
■ 計画路線周辺道路の目的地



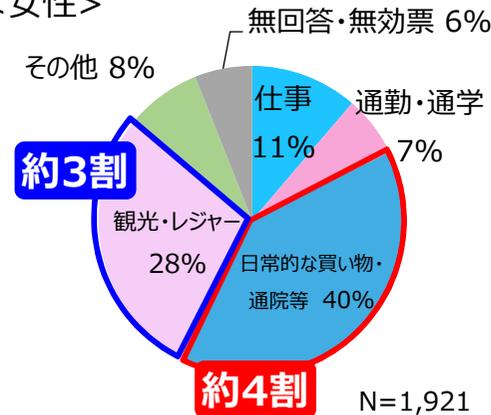
- ※1 沿線・周辺地域
名古屋市中川区・港区、一宮市、津島市、稲沢市、清須市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡蟹江町、海部郡大治町、海部郡飛島村、桑名市、桑名郡木曾岬町
- ※2 東海地域
岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ※3 長野県南信地域
飯田市、駒ヶ根市、伊那市、塩尻市、下伊那郡阿南町、木曾郡南木曾町、木曾郡木曾町、木曾郡上松町、下伊那郡高森町、下伊那郡松川町、上伊那郡飯島町、上伊那郡箕輪町、上伊那郡辰野町、下伊那郡根羽村、下伊那郡平谷村、下伊那郡売木村、下伊那郡天龍村、下伊那郡下條村、下伊那郡泰阜村、下伊那郡阿智村、木曾郡大桑村、木曾郡王滝村、木曾郡木祖村、下伊那郡喬木村、下伊那郡豊丘村、上伊那郡中川村、下伊那郡大鹿村、上伊那郡宮田村、上伊那郡南箕輪村

■ 計画路線周辺道路の利用目的

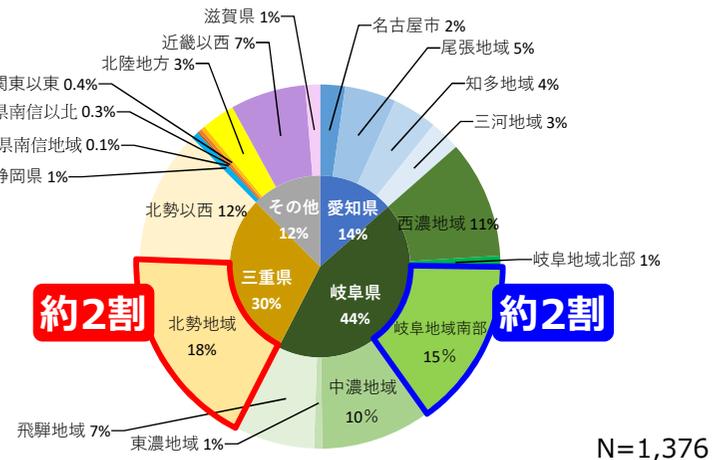
<男性>



<女性>



〔沿線・周辺地域外の目的地詳細〕

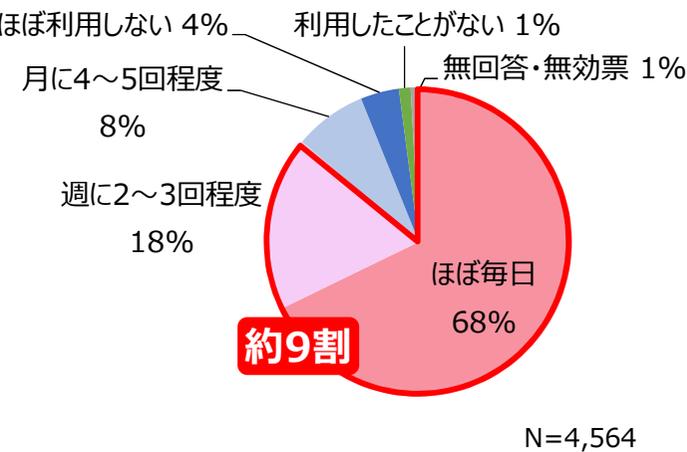


2. 第2回意見聴取の結果 2) 道路の利用状況：①一般道路利用者

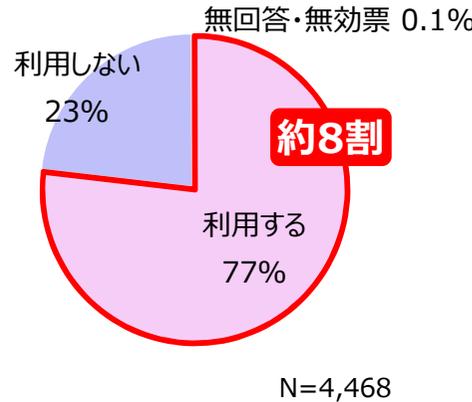
①-3広域道路利用者：自動車利用頻度と計画路線周辺道路利用状況

- 自動車の利用頻度は、約9割が「ほぼ毎日」・「週に2～3回程度」、計画路線周辺道路の利用は約8割。
- 計画路線周辺道路の利用目的で最も多いのは、男性は「仕事」、「観光・レジャー」でそれぞれ約4割、女性は「観光・レジャー」で約5割、次いで「日常的な買い物・通院等」が約2割。
- 目的地は沿線・周辺地域内が約7割と最も高く、周辺地域外では愛知県名古屋市の割合が高く約2割。

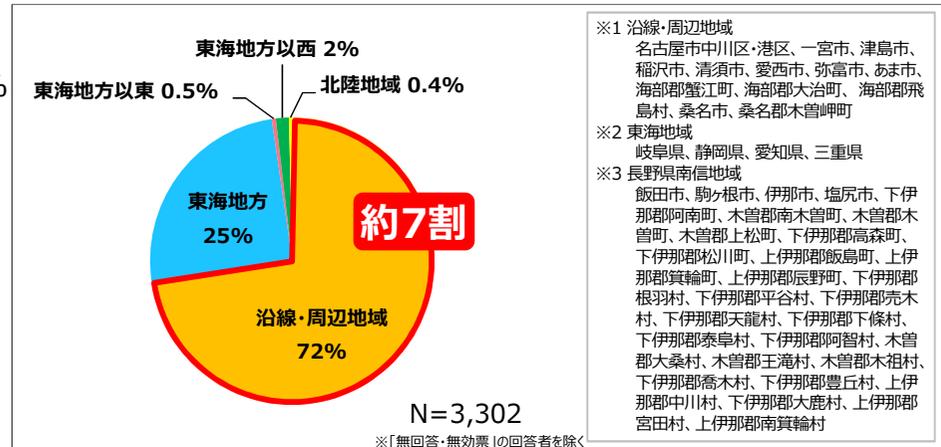
■ 自動車の利用頻度



■ 計画路線周辺道路の利用状況

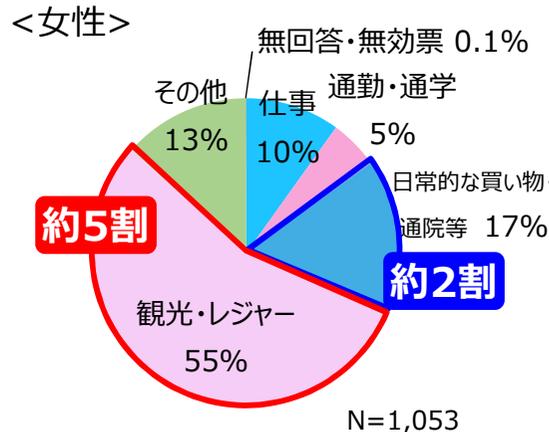
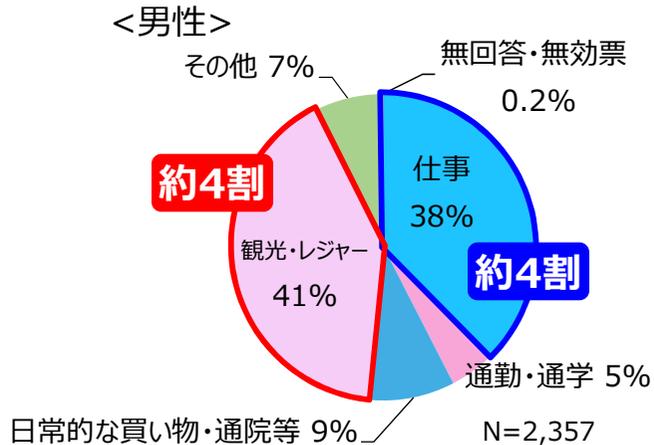


■ 計画路線周辺道路の目的地

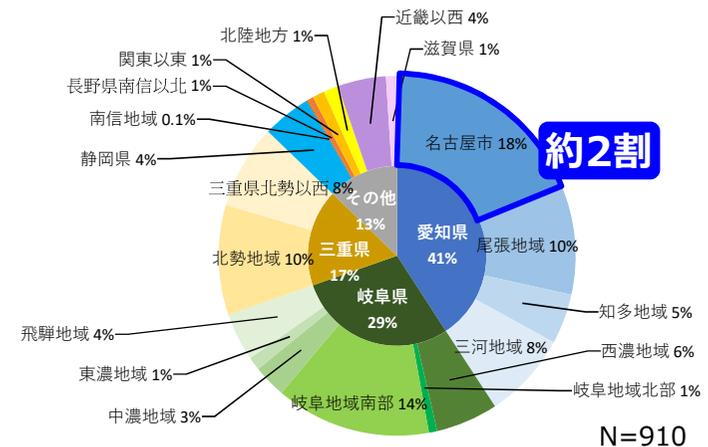


- ※1 沿線・周辺地域
名古屋市中川区・港区、一宮市、津島市、稲沢市、清須市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡蟹江町、海部郡大治町、海部郡飛島村、桑名市、桑名郡木曾町
- ※2 東海地域
岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ※3 長野県南信地域
飯田市、駒ヶ根市、伊那市、塩尻市、下伊那郡阿南町、木曾郡南木曾町、木曾郡木曾町、木曾郡上松町、下伊那郡高森町、下伊那郡阿久川町、上伊那郡飯島町、上伊那郡箕輪町、上伊那郡辰野町、下伊那郡根羽村、下伊那郡平谷村、下伊那郡売木村、下伊那郡天龍村、下伊那郡下條村、下伊那郡泰阜村、下伊那郡阿智村、木曾郡大桑村、木曾郡王滝村、木曾郡木祖村、下伊那郡喬木村、下伊那郡豊丘村、上伊那郡中川村、下伊那郡大鹿村、上伊那郡宮田村、上伊那郡南箕輪村

■ 計画路線周辺道路の利用目的



[沿線・周辺地域外の目的地詳細]



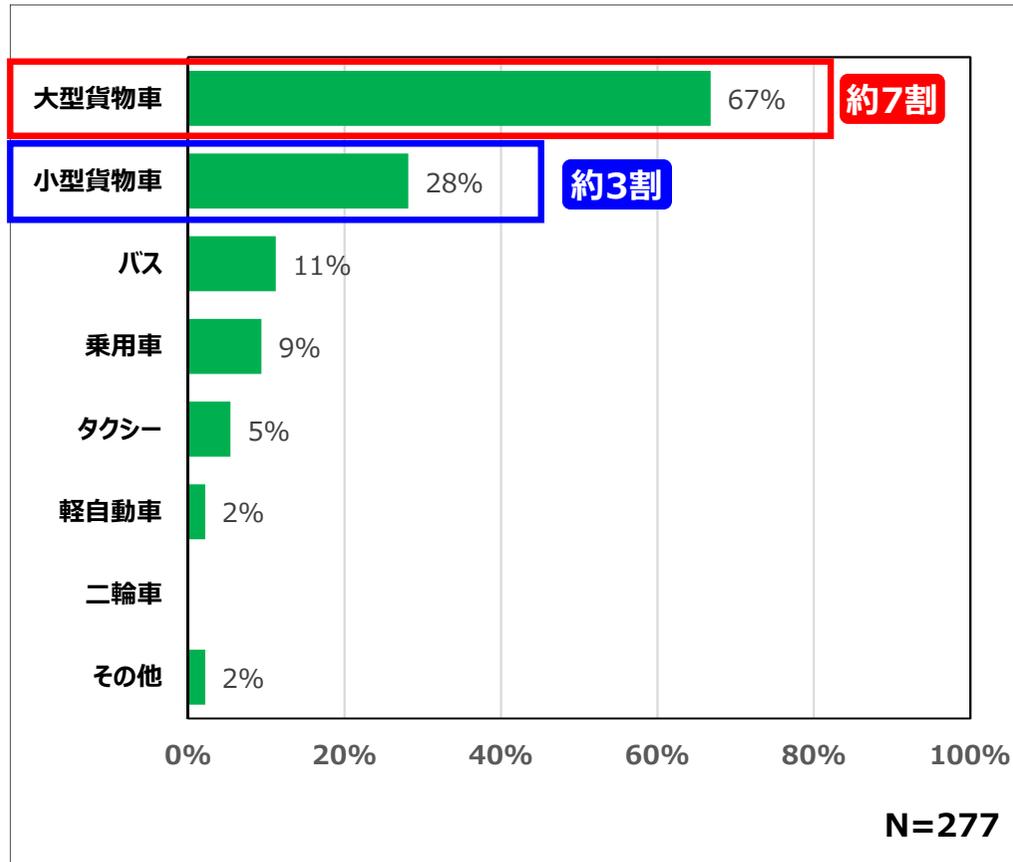
(計画路線周辺道路の利用目的と目的地の設定については、前問で計画路線周辺道路を「利用する」と答えた回答者が対象)

2. 第2回意見聴取の結果 2) 道路の利用状況：②事業者

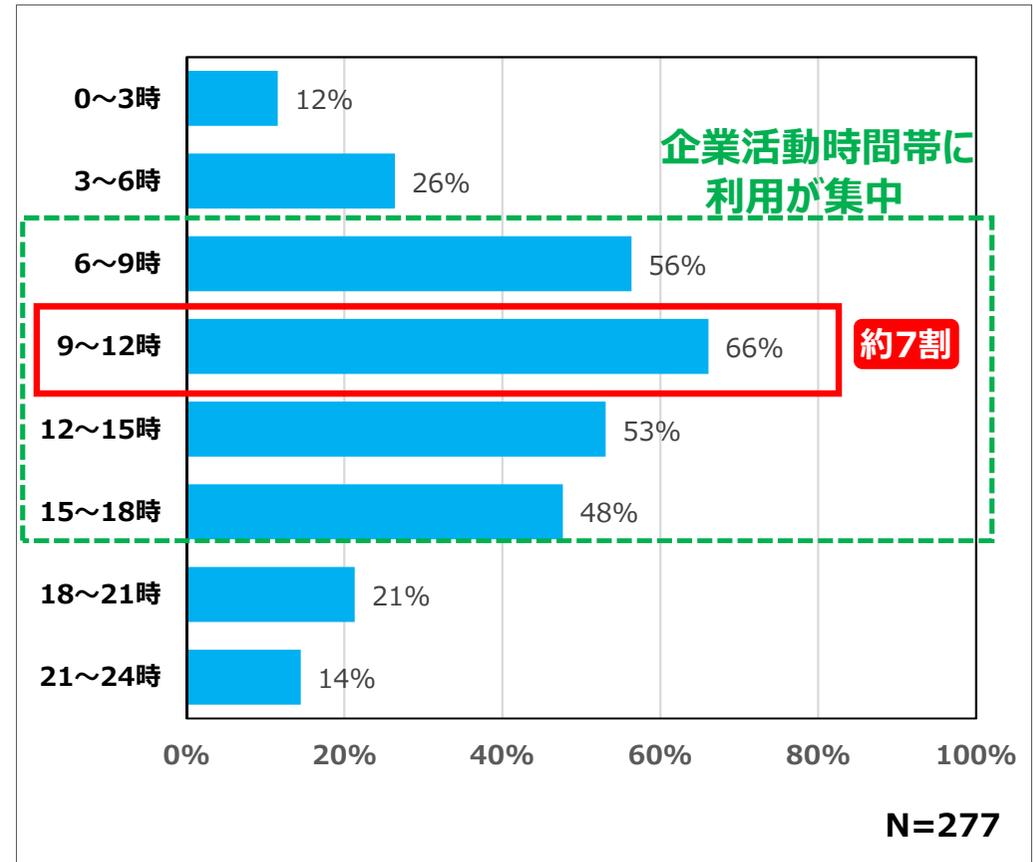
②-2事業者：自動車の利用車種と計画路線周辺道路の利用時間帯

- 計画路線周辺道路を利用する事業者の利用車種は、「大型貨物車」が約7割、「小型貨物車」が約3割。
- 利用時間帯は、6時～18時の企業活動時間帯に集中しており、「9～12時」が最も多く約7割。

■ 利用車種 (複数回答)



■ 利用時間帯 (複数回答)



※利用車種及び利用時間帯の設定については、前問の【周辺道路の利用状況】で周辺道路を「利用する」と答えた事業者が対象

※【利用目的】で「無回答・無効票」だった回答者は集計対象外

※複数回答のため、割合の合計は100%を超える

2. 第2回意見聴取の結果 3) ルート帯案・インターチェンジの配置について：対象者別

①-2対象者別回答傾向（沿線住民、周辺住民、広域道路利用者、事業者）

- 重視すべき事項（①～⑦）は、全ての回答者において8割以上が重視すべきと回答しており、特に沿線住民及び周辺住民、事業者は全ての項目において重視すべきとする意見が多く寄せられている（約9割）。また、広域道路利用者は、「③一般道に混在している大型車交通と一般交通が分散され渋滞緩和や交通安全の向上に寄与すること」を配慮すべきとする意見が最も多かった。
- 配慮すべき事項（⑧～⑪）は、沿線住民及び周辺住民は、生活環境（⑧）に配慮すべきとする回答が多く寄せられた。また、事業者においては生活環境（⑧）、自然環境（⑨）、工事中の影響（⑪）が8割以上と、計画路線が与える影響について関心が高い傾向であった。

質問事項		沿線住民 N=29,110	周辺住民 N=13,026	広域道路利用者 N=4,564	事業者 N=482
重視すべき事項	速達性、定時性の向上による物流活動の支援	①名古屋港の物流交通が早く時間通りに移動できること 44% 87% 43%	40% 86% 46%	30% 85% 55%	47% 89% 42%
	②西尾張、海部地域の企業・工場から、高速道路へアクセスしやすくなること 48% 88% 40%	41% 87% 46%	27% 83% 56%	46% 90% 44%	
	③一般道に混在している大型車交通と一般交通が分散され渋滞緩和や交通安全の向上に寄与すること 64% 91% 27%	58% 90% 32%	44% 87% 43%	56% 91% 35%	
	災害発生時における信頼性の高い道路ネットワークの強化	④災害時に救援活動や支援物資の輸送に役立つこと 67% 92% 25%	64% 92% 28%	39% 85% 46%	56% 91% 35%
	⑤災害時の緊急避難場所として道路が役立つこと 58% 87% 29%	55% 86% 31%	36% 81% 45%	51% 86% 35%	
	土地利用の高度化、地域と連携した開発の促進による持続可能な地方都市の形成	⑥高速道路へアクセスしやすいくこと 57% 89% 32%	50% 88% 38%	38% 84% 46%	57% 92% 35%
	⑦西尾張・海部地域内の移動がスムーズになること 56% 89% 33%	46% 87% 41%	32% 85% 53%	51% 92% 41%	
配慮すべき事項	環境への影響	⑧生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと 44% 82% 38%	38% 81% 43%	26% 77% 51%	35% 84% 49%
	⑨自然環境（動植物等）に配慮し、影響が少ないこと 38% 79% 41%	35% 78% 43%	25% 73% 48%	33% 80% 47%	
	⑩地域の景観（景観資源等）に配慮し、影響が少ないこと 31% 76% 45%	27% 73% 46%	20% 72% 52%	29% 75% 46%	
	工事中の影響	⑪工事中に地域への影響（交通規制・工事期間等）が少ないこと 41% 79% 38%	36% 76% 40%	26% 76% 50%	40% 83% 43%
	建設段階における経済性への配慮	⑫道路を作る費用が安いこと 36% 74% 38%	34% 71% 37%	24% 69% 45%	31% 71% 40%

■ 8割以上が重視すると回答があった項目
 ■ 強く思う
 ■ どちらかというと思う
 ■ どちらかというと思わない
 ■ 全く思わない
 ■ 無回答・無効票

沿線地域：概ねのルート帯が通過する地区

周辺地域：概ねのルート帯が通過する市町村及びその隣接市町村

2. 第2回意見聴取の結果 3) ルート帯案・インターチェンジの配置について：対象者別

①-2対象者別回答傾向（沿線住民、周辺住民、広域道路利用者、事業者）

- 沿線地域、周辺住民の8割以上が、いずれの項目においても配慮すべき事項と回答しており、特に「①工場・倉庫・営業所などの産業拠点にアクセスしやすいこと」、「③市街地や居住地からアクセスしやすいこと」を配慮すべきとする意見が多い。
- 広域道路利用者の約8割が、「①工場・倉庫・営業所などの産業拠点にアクセスしやすいこと」、次いで「③市街地や居住地からアクセスしやすいこと」を配慮すべきと回答。
- 事業者の9割以上が、「①工場・倉庫・営業所などの産業拠点にアクセスしやすいこと」を配慮すべきと回答。

インターチェンジの設置検討における 配慮すべき事項	沿線住民 N=29,110	周辺住民 N=13,026	広域道路利用者 N=4,564	事業者 N=482
①工場・倉庫・営業所などの産業拠点に アクセスしやすいこと	40% 85% 45% 9% 3%	37% 83% 46% 10% 4% 3%	28% 84% 56% 13% 1% 2%	58% 94% 36% 2% 1%
②市役所・町村役場や防災拠点から アクセスしやすいこと	42% 83% 41% 11% 3% 3%	37% 81% 44% 12% 4% 3%	25% 79% 54% 17% 1% 3%	30% 78% 48% 15% 4% 3%
③市街地や居住地からアクセスしやすいこと	47% 85% 38% 9% 3% 3%	41% 83% 42% 10% 4% 3%	31% 83% 52% 14% 1% 2%	30% 78% 48% 15% 4% 3%

: 8割以上が重視すると回答があった項目
 強く思う
 どちらかというと思う
 どちらかというと思わない
 全く思わない
 無回答・無効票

沿線地域：概ねのルート帯が通過する地区

周辺地域：概ねのルート帯が通過する市町村及びその隣接市町村

2. 第2回意見聴取の結果 3) ルート帯案・インターチェンジの配置について：地域別

②-1地域別回答傾向（地域別：愛知県、岐阜県、三重県、その他）

- 重視すべき事項における物流の項目（①～③）では、全ての地域で「③一般道に混在している大型車交通と一般交通が分散され渋滞緩和や交通安全の向上に寄与すること」が最も高く、約9割。
- 防災の項目（④、⑤）では、愛知県、三重県において防災の項目への関心が他の地域の利用者に比べて高く、特に「④災害時に救援活動や支援物資の輸送に役立つこと」を配慮すべきとする意見が9割以上。
- 開発の項目（⑥、⑦）では東海三県（愛知県・岐阜県・三重県）全体で関心が高く、約9割。
- 配慮すべき事項（⑧～⑫）は、全ての項目で約7割以上が配慮すべきと回答しており、特に愛知県の利用者においては8割以上と生活環境（⑧）への関心が高い。

質問事項		必要な道路の機能	愛知県 N=42,209	岐阜県 N=1,237	三重県 N=2,623	その他 N=524
重視すべき事項	速達性、定時性の向上による物流活動の支援	①名古屋港の物流交通が早く時間通りに移動できること	42% 87% 45%	27% 86% 59%	34% 87% 53%	33% 83% 50%
		②西尾張、海部地域の企業・工場から、高速道路へアクセスしやすくなること	46% 88% 42%	27% 84% 57%	32% 86% 54%	28% 79% 51%
		③一般道に混在している大型車交通と一般交通が分散され渋滞緩和や交通安全の向上に寄与すること	61% 90% 29%	43% 88% 45%	51% 90% 39%	44% 90% 46%
	災害発生時における信頼性の高い道路ネットワークの強化	④災害時に救援活動や支援物資の輸送に役立つこと	65% 92% 27%	37% 85% 48%	55% 90% 35%	43% 83% 40%
		⑤災害時の緊急避難場所として道路が役立つこと	56% 86% 30%	33% 82% 49%	48% 85% 37%	36% 80% 44%
	土地利用の高度化、地域と連携した開発の促進による持続可能な地方都市の形成	⑥高速道路へアクセスしやすいくこと	54% 88% 34%	36% 86% 50%	43% 87% 44%	45% 84% 39%
		⑦西尾張・海部地域内の移動がスムーズになること	52% 88% 36%	32% 87% 55%	37% 87% 50%	32% 82% 50%
配慮すべき事項	環境への影響	⑧生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと	41% 81% 40%	24% 79% 55%	32% 79% 47%	28% 77% 49%
		⑨自然環境（動植物等）に配慮し、影響が少ないこと	37% 78% 41%	23% 73% 50%	29% 76% 47%	28% 73% 45%
		⑩地域の景観（景観資源等）に配慮し、影響が少ないこと	30% 75% 45%	18% 71% 53%	21% 72% 51%	24% 73% 49%
	工事中的の影響	⑪工事中に地域への影響（交通規制・工事期間等）が少ないこと	39% 78% 39%	25% 76% 51%	27% 76% 49%	28% 75% 47%
	建設段階における経済性への配慮	⑫道路を作る費用が安いこと	35% 73% 38%	23% 68% 45%	27% 70% 43%	25% 68% 43%

■ : 8割以上が重視すると回答があった項目
 ■ 強く思う
 ■ どちらかというと思う
 ■ どちらかというと思わない
 ■ 全く思わない
 ■ 無回答・無効票
 ※居住地詳細不明の回答を除く ※事業所を含まない

2. 第2回意見聴取の結果 3) ルート帯案・インターチェンジの配置について：地域別

②-1地域別回答傾向（地域別：愛知県、岐阜県、三重県、その他）

- 全ての地域において8割以上が、いずれの項目においても配慮すべき事項と回答しており、特に「①工場・倉庫・営業所などの産業拠点にアクセスしやすいこと」、「③市街地や居住地からアクセスしやすいこと」を配慮すべきとする意見が多い。
- また、「②市役所・町村役場や防災拠点からアクセスしやすいこと」では、計画路線が連絡する東海三県（愛知県・岐阜県・三重県）において、8割以上が配慮すべきと回答。

インターチェンジの設置検討における 配慮すべき事項	愛知県 N=42,209	岐阜県 N=1,237	三重県 N=2,623	その他 N=524
①工場・倉庫・営業所などの産業拠点にアクセスしやすいこと	39% 84% 45% 10% 3%	27% 84% 57% 13% 3%	32% 84% 52% 11% 2%	32% 84% 52% 14% 2%
②市役所・町村役場や防災拠点からアクセスしやすいこと	40% 82% 42% 12% 3%	25% 80% 55% 17% 3%	31% 81% 50% 13% 3%	27% 77% 50% 19% 4%
③市街地や居住地からアクセスしやすいこと	46% 85% 39% 9% 3%	31% 82% 51% 15% 3%	36% 83% 47% 12% 2%	36% 84% 48% 13% 3%

 : 8割以上が重視すると回答があった項目
 強く思う
 どちらかというと思う
 どちらかというと思わない
 全く思わない
 無回答・無効票
 ※居住地詳細不明の回答を除く ※事業所を含まない